

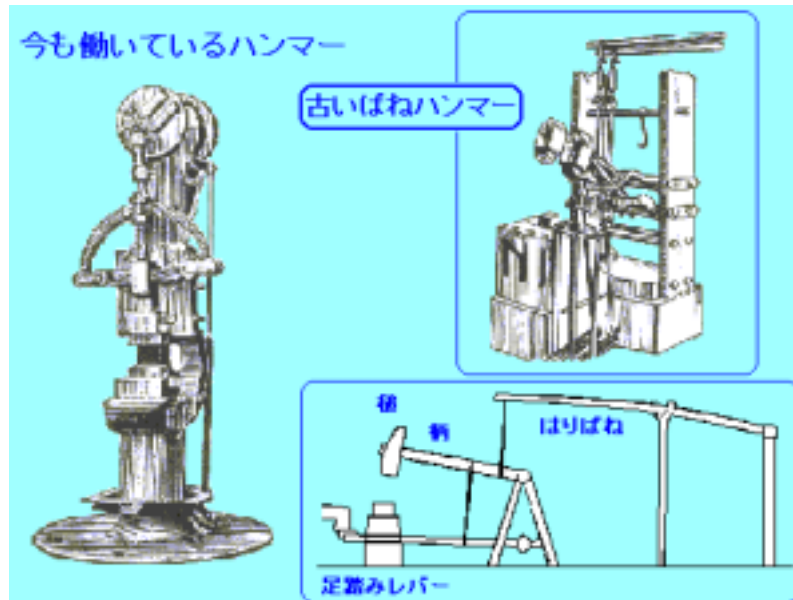


## スプリング ハンマー

強くペダルを踏むとトントントントン、弱く踏むとトーントーン。初めての私は恐る恐る、トーン トーン。少し慣れてくると、トーン トン。面白いように速度が変わります。電動モーターによるスプリングハンマーは包丁やナイフ、カンナなどを造る鍛冶屋さんにとって非常に便利な道具で、今も使われています。（左図）

2001年4月に三条で刃を鍛接する、ナイフづくりを教わりました。ここ岩崎重義先生のところでも大小2台のハンマーが働いていました。上手に使うと板厚が均一になります。ナイフづくりでは25mmの素材を5mmほどの厚みまで鍛造しました。

スプリングハンマーの歴史は古く、1300年代にはイギリスで右下のようなバネハンマーが使われました。柄のついた槌を長いはりばねで持ち上げ作業者が足踏みペダルで槌を引き下します。



左上のスプリングハンマーは三木市でカンナを作っておられた『千代鶴貞秀』さん愛用のものです。

（95年撮影）

左は三木金物資料館に展示されていた千代鶴貞秀作のカンナ『淡路の夕凧』と銘がある。

### 参考図書

鍛造 - 歴史と共に - 中日本鍛造協同組合 2000年

URL <http://www2.memenet.or.jp/kinugawa/>  
<http://www.kanamonoya.co.jp/>  
 e-mail [ryou@memenet.or.jp](mailto:ryou@memenet.or.jp)

むらの鍛冶屋

®

何でもお気軽に  
お尋ねください !!

